



## ●NIAの予定 3月～4月●

NIAの行事予定はありません

日本語能力試験 第1回 7月2日(日) 受験申込み期間 3月29日(水)～4月28日(金)



## ●学習者紹介●

- ①名前(学習曜日) ②出身国、都市 ③趣味 ④担当日本語ボランティア



- ① 傳家路(水)
- ② 中国、四川省 成都
- ③ 読書、水泳、散歩
- ④ 山崎 圭造



- ① レーティミーカム(木)
- ② ベトナム、ニャチャン
- ③ 日本各地への旅行、カラオケ
- ④ 人見 順子

## ●NIAふれあい祭り 2月4日(土)●

第9回のふれあい祭りは、谷津干潟自然観察センターで開催された「世界湿地の白まつり」に合わせ、「鳥との交流・谷津干潟、ひととの交流・国際交流」をテーマに、初春のような好天の中行われました。

NIAは①当協会をアピールするパネル展示、②NI-Youthのゲーム、③英語交流会、④アオサの有効活用をテーマにした講演会などを実施しました。

日本語教室部会では7行事のパネルを展示し、部会の活動を紹介するチラシを作成して来館者に配り、コミュニケーションを図りました。私自身は、若者たちが将来グローバル社会で活躍できる人間になってほしいと願いながら、東京から来た小学生50名と保護者、実籾・七林・谷津南小学校の子供たち、谷津干潟ジュニアレンジャー、そしてNI-Youthの若者たちとの会話を楽しんだ1日でした。(松)



## ●日本語ボランティア研修会 2月15日(月)●

勝又 陽子 日本語ボランティア(水)

久しぶりにボランティア研修会を受講したところ、西川 寛之先生は私にとって初めての方でした。

20年近くボランティアを続けていると、学習者のレベルに合わせて授業の仕方も変わらざるを得ませんが、それにしてはこちらの取り組み方も変わってきたのは事実です。

その意味で、「ボランティアスタッフも活動の場所」と仲間を求めるといって「被支援者」であるという考え方は、マンネリ化しがちな自分への刺激になりました。また講義の内容も、学習者が陥りやすい具体例を提示しての西川先生の説明も楽しく聞けて、意義のある内容でした。

\*本年度第2回目の研修会には、日本語ボランティア50名が出席しました。

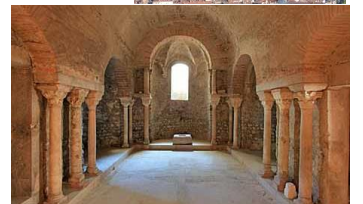
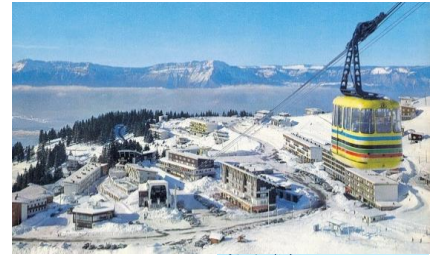


## ●私のふるさと自慢⑧● フランス グルノーブル

マキシム アンドリゲット 学習者(木)

グルノーブルはフランスの南東にあって、2000m以上の山に囲まれています。パリから新幹線で3時間かかります。気候は長野と同じくらいで、1968年には冬季オリンピックが開催されました。スキー場が沢山あるので、子供の頃よくスキーに行きました。

夏には山でハイキング、湖ではウィンドサーフィンなどのスポーツが人気があります。地元では「シャボン玉」の愛称で親しまれているロープウェイに乗りバスティーユ要塞に上ると、晴天ならアルプスのモンブランが、夜にはキラキラと美しい夜景が楽しめます。

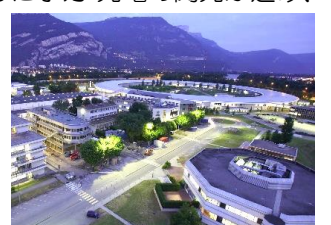


Saint-Oyand

街の中心地は19世紀後半に建てられてオスマン建築で建てられています。4世紀に作られた「Saint-Oyand」は教会の地下納骨堂の保存が良く、一般に公開されています。

またフランス国立科学研究所があり、先端技術の研究が行われています。19世紀半ばに水力発電の開発が進み、

その際イタリアからたくさんの方がこの地に来て、建設を手伝いました。私の祖父もそのためにフランスに入国しました。フランス人の私がイタリアの名前なのはそのためです。



兵庫県と同じ最先端の加速器

# 東海道五十七次・16日間歩いて旅する



薩埵峠の浮世絵「さったとうげのうきよえ」 薩埵峠



琵琶湖「びわこ」



芦ノ湖「あしのこ」



大井川橋「おおいがわし」



随心院「ずいしんいん」



石部宿「いしべしゆく」 三条大橋「さんじょうおおはし」 由比宿「ゆいしゆく」

「東海道五十三次（日本橋～京都三条大橋492.1km）は、江戸時代に整備された五街道の一つ、東海道にある53の宿場を指す。古来、道中には風光明媚な場所や有名な名所旧跡が多く、浮世絵や和歌・俳句の題材にもしばしば取り上げられた。なお五十三次と称す場合は京都までの場合であり、さらに大阪までを加えて東海道五十七次（492.1km + 58km）とする説もある。」



富塚八幡宮「とみづかはちまんぐう」 淀宿「よどしゆく」



近江茶「おうみちや」



草津宿「くさつしゆく」

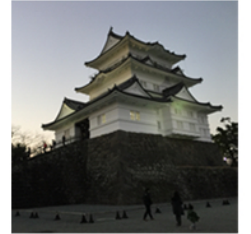


日本語ボランティアの山田さんが以前東海道について紹介してくださり、時間があればぜひ東海道を旅行しようと思っていました。そして遂に2016年12月22日から2017年1月6日の16日間、大阪の高麗橋から東京の日本橋まで徒歩の旅をしてきました。

まず東京駅から新幹線を利用して新大阪駅に行き、帰りは正月のUターンラッシュを避け、東京の日本橋まで歩いて帰りました。東海道には宿場町を中心にたくさんの歴史的建造物や街並みなどが残っていて、資料館も多数あります。本陣や旅籠跡、古戦場跡、城下町のくねくねした道など、とても感慨深い体験でした。さらに、

今回の素晴らしい旅行のおかげで、教科書には書かれていない現地の歴史と文化を知ることができました。

おすすめの場所はたくさんありますが、特に「由比宿」が深く印象に残っています。由比の先にある「薩埵峠」からは、大きく弧をかいて伸びる相模湾と富士山の雄大な景色を眺めることができます。「農山漁村の郷土料理百選」の桜えびは100余年の歴史があり、美味しかったです。綺麗な歴史的建物や、古い神社や、お太鼓祭りなどがあり、大好きな場所です。



小田原城「おだわらじょう」



佐太天神宮「さだてんじんぐう」



清見寺「せいけんじ」



大津宿「おおつしゆく」



桑名宿「くわなしゆく」



掛川宿「かけがわしゆく」